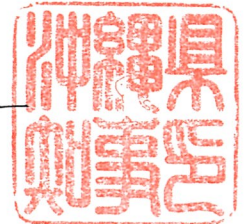


知基第179号
令和元年11月5日

在沖米国総領事
ロバート・ケプキー 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



米軍兵による度重なる刑法犯罪について（抗議）

令和元年10月23日に、那覇市において米国艦船揚陸艦ボクサー所属の海兵隊員が暴行で逮捕される事件が発生しました。また、同月27日には、恩納村において在ハワイ州米海軍所属の海軍兵4名が住居侵入及び公務執行妨害で逮捕される事件が発生しました。

米軍関係者による事件は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に大きな不安を与えるものです。特に、恩納村における事件については、パトカーのフロントガラスを破壊する等極めて悪質な事件であると考えております。

今回の事件は、在沖米軍人の事件ではありませんが、かかる事件は在沖米軍の運用そのものにも悪影響を与えるものであると考えております。

本国から一時的に派遣される米軍等についても改めて、安全対策、綱紀粛正及び教育の徹底を講じるよう要請します。

また、公務外の事件につきましても、その防止を図ることを目的とする米軍人・軍属等による事件・事故防止のための協力ワーキングチーム（CWT）において協議することとされておりますが、県の度重なる要求にもかかわらず、平成29年4月以降、行われていないことから、速やかに開催するよう強く求めます。